

令和6年度(2024年度) 学校関係者評価票

学校名	北海道苫小牧南高等学校
-----	-------------

組織名	学校関係者評価会議
評価者氏名	・学校評議員5名 ・後援会長1名 ・PTA会長1名 (保護者1名を含む)

1 本年度の重点目標

『もっとやれる』に気付く学校として、生徒の可能性を信じ、引き上げる教育を推進し、北海道一の進路多様校を目指す。 (1)学習指導 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり、ICT機器の活用、英語を使う機会、地域と連携した探究活動の充実 (2)生徒指導 生徒理解を深め、規範意識の醸成、生徒会活動や部活動の充実、校則等の積極的な見直し (3)進路指導 進路情報の適切な提供、キャリア教育の推進、進路活動の環境整備の推進や講習等の改善充実 (4)健康・安全指導 健康増進の意識の醸成、教育相談の充実、清潔で安全な環境づくりと意識の醸成、地域と連携した防災教育
適切です。ICT取入れや英語の特長的学びに重点をおいている。 ・生徒の可能性を信じ、引き上げる教育という目標は、適切である。今後も一人ひとりの生徒の個性を大切に可能性を引き出し、適切な進路指導を目指して努力していただきたい。 ・重点目標である『もっとやれるに気付く学校』について、生徒・保護者と教員の間の温度差が懸念される。 ・コロナ禍においている制限や制約がある中で進んでいくことが大変だと思っておりますが、限られた中でも効果的に進んでいたのではないかと思います。

2 自己評価結果

大項目	評価項目・指標等		達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策	自己評価の結果 内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善方 策の適切さ
	中項目	小項目						
教育課程・学習指導	授業の工夫改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。(生徒及び保護者等に対するアンケート結果において、肯定的な評価の割合が70%以上をA、60%以上をB、50%以上をCとする。)	A	A	○学習課題を明確化し、授業研究や相互授業参観、外部研修に積極的に参加する。	A	A	A
	観点別学習状況の推進と活用	指導と評価の一体化を推進する。(同上)	A	B	○学習プロセスの評価や指導計画、評価基準の見直し。			
	ICTを活用した学習指導の推進	ICTを活用した学習活動を推進し、個に応じた学びと協働的な学びの充実を図る。(同上)	A	A	○研修委員会と情報管理委員会が連携し、教員のICT活用指導力向上のため研修会を実施する。			
評価者の意見等	・ICT活用指導力の更なる強化を期待する。 ・限られた条件や環境の中で、いつも一歩前に進む意識を持続することを期待します。							
生徒指導	生徒理解の深化による指導	生徒理解を深め、教員と生徒相互の信頼に基づく生徒指導を推進する。(同上)	B	B	○教員の指導方針の統一と一貫性の確保や全員面談の中で、対話を重視した指導を心がける。	A	B	A
	規範意識・自他を尊重する態度の育成、いじめへの対応	規範意識の醸成を図り、自他を尊重し社会人として責任ある態度の育成に努める。(同上)	A	A	○「いじめ防止対策委員会」を中核として、情報収集、情報共有を行い、未然防止・早期対応に努める。			
	校則等の見直し	校則等について生徒とともに不断に見直し。(同上)	A	A	○ルール目的や背景を明確にした上で、生徒が主体性に関わる仕組みを構築する。			
評価者の意見等	・単位選択時に進路希望に関わらない科目を選ばなければならない時は、十分に生徒に理解してもらえよう、丁寧な説明をお願いします。 ・更なるきめ細やかな生徒指導を期待する。 ・指導する側の人間味あふれる言動を望みます。事務的な迫力のないサラリーマン教師にはなってほしくないです。							
進路指導	進路情報等の適切な提供	進路情報の適切な提供やガイダンスの充実など進路学習に取り組み環境整備を推進する。(同上)	A	A	○進路情報の整理・更新や年次ごとの進路指導計画の再構築を行う。	A	A	A
	キャリア教育の推進	体系的なキャリア教育を通して自己理解を深め、望ましい職業観を醸成する。(同上)	A	A	○学校主催のガイダンスだけではなく、大学・専門学校・企業と連携した出張講義や職業体験を実施する。			
	進路活動の環境整備講習等の充実	講習・模擬試験・面接指導などの効果的な実施により進路希望の実現を強力に支援する。(同上)	A	B	○講習の内容やスケジュールの最適化と小論文指導の充実を図る。			
評価者の意見等	・苫小牧におけるデータセンター、半導体関連、ゼロカーボンなどの取り組みについて、知る機会を創出し、将来の選択肢となるようなキャリア教育についても取り組んでほしい。 ・子供にとっても親にとっても、将来の進路を方向づけるのは、意外と難しいものです。単なる情報提供者や相談者にはならないよう、教師の底力や経験等が見抜かれる場面です。							
健康・安全指導	教育相談の充実	共感的生徒理解に基づく教育相談を推進し、生徒が自らの課題に向き合う環境を整える。(同上)	A	A	○安心できる居場所の確保やピアサポートの充実を図る。	A	A	A
	清潔で安全安心な学校づくりと環境の維持	清潔で安全安心な学校づくりを進め、学習環境を維持する態度の育成に努める。(同上)	B	B	○スクールカウンセラーの活用や保護者等との連携を強化し、家庭と学校が一体となってサポートしていく。			
	防災教育の推進	地域との連携を図り、防災教育を積極的に推進し自助・共助を実践する。(同上)	A	A	○地域のボランティア活動や体験学習を通じて、社会とのつながりを実感させる。			
評価者の意見等	・清潔で安全な学校づくりの面での具体的な課題は何なのか？地域などの外部との関わりを更に進めて南高の見える化に取り組んでほしい。 ・健康と安全は最低限の基本的な事ではありますが、具現化するのには、決して簡単ではありません。教職員が同じ意識のもとで進んでいくものだと思います。期待しています。							
その他	国際理解教育	語学力の育成を図るとともに、国際交流や海外語学研修など視野を広げる教育活動の推進する。(同上)	A	A	○海外語学研修の推進や交換留学生の受け入れ等、英語教育の充実を図る。	A	A	A
	満足度	『もっとやれる』に気付く学校として、単位制の主旨を生かし、生徒一人ひとりの可能性を信じ、引き上げる教育を推進し、進路多様校として個に応じた進路実現を目指す。(同上)	A	B	○成長実感を得られる場の提供や生徒の強みを伸ばす学びと文化の醸成を図る。			
評価者の意見等	・入試において、英語を傾斜配点しているのであれば、もっと英語教育を充実させるべきだと思う。海外の学校とZoomでクラスごと交流したり、授業を受けてみたり、SDGsを考えた時、時差があればチャットや動画配信など、みんなで取り組めることを行う。 ・語学力の向上の各種取り組みについて、生徒の可能性を更に広げてほしい。							